

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		墨田区との連携推進				所管	文化産業観光部 観光課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	176	計画事業名	墨田区との連携推進	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 38 戦略的なプロモーションの展開				[事業開始]	平成 2 8 年度			
	根拠法令等	その他	[法令等名]	東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定						
	事業対象	直接の対象 : 国内外の観光客及び旅行代理店等 最終的な対象 : 国内外の観光客								
	事業目的	墨田区との観光分野における連携に関する協定に基づき、連携事業を推進することで、更なる誘客とにぎわいを創出し、地域の活性化を図る。								
	事業内容 [H30年度]	(1) 共同イベントの実施 ①「江戸より受け継ぐ隅田公園の桜巡り」平成30年4月7日(土)・8日(日)、参加者344名 ②「江戸から明治、現代へー江戸を守った男たちー」シンポジウム(平成30年10月8日(月・祝)参加者436名)史跡巡りツアー(平成30年11月10日(土)・17日(土)、参加者10日25名・17日25名) ③池波正太郎が描いた江戸巡り(平成30年12月10日(月)・12日(水)、参加者10日15名・12日16名) (2) 合同プロモーション (平成31年3月14日開催、富山県会場参加者42名、石川県会場参加者39名)								
	委託の有無	一部委託	委託内容		「江戸を守った男たち」シンポジウム及びツアー実施委託 「池波正太郎が描いた江戸巡り」ツアー実施委託					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	共同イベント実施回数	回	2	—	2	4	—	—	
	成果指標	共同イベント参加者数	人	500	—	3,000	517	—	—	
	決算額 (単位:千円)					H28年度	H29年度	H30年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				—	—	4,408		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				—	—	4,032		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				—	—	0		
		総経費				—	—	8,440		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				—	—	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				—	—	0				
一般財源(区負担額)				—	—	8,440				
課題及び今後の進め方	「東京都墨田区と東京都台東区との観光分野における連携に関する協定」の期間は、平成29年10月28日から令和3年3月31日となっている。その後の連携のあり方については、墨田区と調整しながら検討していく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	多様化する観光ニーズに対応するため、互いの観光資源を有効に活用し、より効果的な観光振興事業及びPR活動を実施できることから、台東区及び墨田区の地域活性化と区民生活の向上に向けて、隅田川を挟んで隣接し、姉妹都市として密接な繋がりを有する墨田区と連携して観光振興に取り組む必要性は高い。							
	効率性	3	共同イベントは、専門の見地を要するため業務委託により実施しているが、事業者の専門性を活かした質の高い企画内容で、かつ、低コストにより両区の観光魅力を効果的に発信することができている。							
	手段の適切性	3	合同観光プロモーションの実施や観光マップの作成など、これまでも様々な連携事業を実施してきたが、観光分野における連携協定に基づき、共同で観光振興事業に取り組むことにより、スケールメリットを活かした事業の展開が可能となり、また、相互に観光客の回遊が生まれるなど、更なる相乗効果の発揮が期待できる。							
目的達成度	4	台東区及び墨田区にゆかりの深い人物を取り上げたシンポジウムや、両区の観光資源を回遊するツアーなど、それぞれの特性を活かしたテーマ性のある共同イベントの実施により、区民をはじめとする参加者などに、広く観光魅力を発信することができており、事業の目的は達成されている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、観光客の増加や観光ニーズの更なる多様化が見込まれる中、新しい観光需要にも着実に対応を図っていく必要がある。そのため、今後は、両区の観光資源を更に有効活用し、これまで以上にプロモーション活動等における相互連携、協力関係を強化していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		